



## 運動会は何のため？ 午前開催・種目数を減らす中で

運動会では、リレーや綱引き、玉入れなどの種目が注目されがちですが、運動会は集団行動を身に付ける大切な場でもあります。

**なぜ集団行動が必要なのか？** 大勢で行動することで連帯感が生まれたり、信頼関係が築けたりなどさまざまなメリットがあります。また、自然界において、強い動物（肉食のトラなど）は、単独行動を取りますが、弱い動物（草食の羊など）は群れることで外的から身を守るようにしています。集団から外れた（わがまま、ルールを守らない）動物が襲われて餌食になってしまいます。人間も弱い動物です。集団行動ができなければケガや死につながります。例えば、散歩や園外活動で整列、集合などの集団行動ができないと事故につながります。

ところが幼いときに周囲に合わせる機会が少なかった子は、大人になって集団行動が苦手になります。周りが大人ばかりの環境であれば、みんなが自分に配慮して行動してくれるため、他人のペースに合わせる必要がないためです。そのため運動会は競技を競うだけでなく、集団行動を身に付ける大事な行事なのです。

**親はマナーの手本を示す** 親は子どもにマナーを教えるだけでなく、お手本を示すことです。

5月31日から、訓高のインターンシップ（職場体験）で高2の男子生徒を受け入れています。とても礼儀正しい生徒です。親御さんの育て方が分かります。

子どもは親の行動を真似る能力を生まれつき持っています。子どもにマナーを教える最も簡単な方法は、親がお手本を示すことです。

「おねがいします」と「ありがとう」は特別な場だけではなく、ごく普通の状況で使う言葉です。親がマナーのお手本を示すことによって、将来、社会に出たときに、いろいろなタイプの人とうまく付き合えることができます。

「お願いします」「ありがとう」「とても楽しかったです」「失礼します」

これらの4つの言葉は、子どもが大人になったときに他の人と協調して働く能力を養い、職場で円満な人間関係を構築するのに役立ちます。基本的なマナーを身に付けていると、どんな集まりの中でも礼節をわきまえた行動をとることができます。自分が最高のマナーの模範を示し、子どもに「自分は最高のマナーに値する人間だ」という自覚を持たせることです。（「わくわく子育て」家庭教育手帳より）

## 子育て支援センターを活用ください(こども園に通っていても利用は可能です)

例えば、平日保護者さんがお休みのときなど、親子で支援センターを利用することが可能です。また、支援センターの行事にも参加することもできます。詳しいことは、子育て支援センターだより「ひだまり」をご利用ください。リニューアルしたHPに掲載しています。

・・・6月5日(月)から6月9日(金)までの予定・・・ 上のQRコードはHP

- 5日(月) わくわく English (5・6歳児)
- 6日(火) 避難訓練 分掌主任会議(先生方の会議)
- 8日(木) 発達支援事業(5歳児)
- 9日(金) 尿検査(3次) \*6~8日 窓ふき作業

～週間天気予報～

5日(月) 曇り最高15℃ 6日(火)からは曇りで24~26℃の予報です。

「父の日」  
忘れないでね

